

子育て 少しでも快適に

保護者へ応援グッズ配布

大船渡

こそだて シップ 手作りおもちゃキットなど

大船渡市のNPO法人こそだてシップ（伊藤恰子理事長）は、自宅で未就学児の面倒を見ている保護者を対象に、手紙と一緒に手作りおもちゃキットなどを詰め合わせた応援グッズを配布する。新型コロナウイルスの感染拡大により、市内の子育て支援拠点を利用できなくなっている保護者を案じての支援策。大村恵世副理事（41）は、「応援グッズを活用して、少しでも楽しく快適に子育てしてもらえたら」と話している。

同法人は3月7日か

ス感染拡大を防止する

ため、盛町のサン・リ



育て支援拠点「すくすくルーム」を閉鎖。利用者の中には、買い物に立ち寄り、再開時期を直接問い合わせる人もいたという。

ア内に開設している子育て支援拠点「すくすくルーム」を閉鎖。利用者の中には、買い物に立ち寄り、再開時期を直接問い合わせる人もいたという。

法人スタッフからは、利用者の近況を気に掛け、たびたび話題にしていた。そうした中で、気軽な電話相談を促す手紙を利用者に送る提案があり、併せて応援グッズも贈ることになった。

応援グッズの中身は、手作りおもちゃキットや、童謡などが収録されたCD、手作りのマスクとその作り方の

説明書など。保護者にホッと一息ついてもらおうと、カフェインレスのドリップコーヒーも用意した。

手紙と応援グッズは、4月末に連絡先に分かる利用者へ郵送したほか、今月8日に行われた1歳6カ月健診の参加者に配布。もらった保護者から感謝のメールが届くなど好評だったことから、「もっと若い月齢の子の親にも届けたい」と、より多くの保護者に配ることとした。

保護者向けの手紙には、「いつでもすくすくルームにお電話ください」とい呼びかけと共に、「お子さんは日々、成長されていますか？ママの気分はどうですか？」と心身を案じる言葉も添えられている。

手作りマスクはキットンペーパーで作るもので、鼻の部分にワイヤを入れたり、両面テープを活用したりするなど、隙間ができてくくなるよう職員がアシッンを加えたという。応援グッズの配布対象は未就学児の保護者。買い物などのついでにすくすくルームに立ち寄って受け取ることもできる。希望する人は、すくすくルーム（TEL47・5689）へ連絡を。対応時間は午前10時～午後3時。同法人では、大人用、子ども用両方のマスクを寄贈してくれる団体を探している。問い合わせ先は同じ。